

※下書き用紙に表示している内容は2023年1月現在

記入例 (2023.二次採用・秋) 「貸与のみ希望」対象者用

2023年度

スカラネット入力下書き用紙

【貸与奨学金のみ申込み用】 (大学・短期大学・専修学校専門課程)



貸与奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

貸与開始～返還

貸与奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）であり、給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む場合は、給付奨学金案内に挟み込まれている「スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】」を使用してください。

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>

受付時間 8:00~25:00 (最終締切日は8:00~24:00)

※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。入力所要時間の目安は30分~1時間です。



氏名	学籍番号	学部・学科・分野

入力の際に必要な項目です。学校の担当者に必ず正しい名称を確認してください。

受付番号									

入力が完了し「送信」ボタンを押した後に、受付番号が画面に表示されます。太枠部分は、定期採用で申込みした場合は「2」、緊急採用・応急採用で申込みした場合は「3」になります。

受付番号はスカラネット入力後に記入してください。

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

- ・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
- ・マイナンバー提出書
- ・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子15ページに貼り付けてください。）

【スカラネット入力内容記入欄】

※インターネットで申し込む際は、「奨学金案内」40ページ「(3) 文字入力」を参照して文字を入力してください。

識別番号入力

あなたの識別番号（学校から交付されたユーザIDとパスワード）を入力してください。
(注) パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID パスワード

パスワードはスカラネット入力時は黒丸記号での表示になります。入力がエラーになる場合は、入力した文字を目で見えて確認できるよう、最初にユーザID欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。

奨学金学種 (学校) ・申込の選択

あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

「大学」を選択してください

課程：大学の場合の表示例

申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

(1) 定期採用 (1次又は2次 給付奨学金・貸与奨学金)

- 現在在学している大学での奨学金を申込みすることができます。

必ず、「定期採用(1次又は2次)」を選択する！

(2) 家計急変採用 (給付奨学金のみ)

- 生計維持者に特定の事由が生じたことで家計に支援を要する場合のみ申し込みすることができます。学校で申込資格を確認してください。

(2)~(3)は選択しない！
誤って選択すると再申請が必要になります。

(3) 緊急採用・応急採用 (貸与奨学金のみ)

- 過去1年以内に生計を維持している人が失業、破産、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により家計急変が生じた人のみ申込みすることができます。学校で申込資格を確認してください。

課程を選択すると、申込み奨学金を選択する画面が表示されます。※この「下書き用紙」及び「奨学金案内」では、(1)定期採用又は(3)緊急採用・応急採用を選択した場合について説明しています。申し込み奨学金を誤って、申込完了してしまうと、修正できませんので、注意してください。

ユーザID・パスワードは大学から申請希望フォーム入力者へ大学指定アドレス (u+学籍番号@cc.seikei.ac.jp) へのメール通知および書面にて郵送いたします。

大学指定アドレス (u+学籍番号@cc.seikei.ac.jp) は任意のアドレス (GmailやYahooメール等) に転送設定が可能ですので、転送設定を行ってください。

①-あなたの氏名・誓約情報

日本学生支援機構理事長 殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「確認書兼同意書」にしたがい、奨学生に採用決定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

スカラネット入力日の日付を入力してください。

誓約日 西暦 年 月 日 氏名 (全角漢字) 氏名 (全角カナ) 生年月日

生年月日の入力を誤ると、正しく成年判定を行うことができませんので注意してください。

参考 和暦 西暦 平成 10 1998 11 1999 12 2000

国籍 日本国籍 日本国籍以外

※国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。

在留資格 在留期間 (満了日) 西暦 (半角数字4桁) 年 月 日

在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。 はい いいえ

STEP3 ②-奨学金申込情報

あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

- (a) 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。 (b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。 (c) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。

上記 (8)、(9)、(10)、(11)、(13)、(14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号 (半角数字) (例: 822 04 999999)

【(10)、(11)を選択する人へ】 既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中の人、予約採用者、又は短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学により第二種奨学金を継続する人で、今回の申込みでさらにもう一方の奨学金を申し込み、併用貸与を希望する場合は(10)又は(11)を選択してください。

【(13)、(14)を選択する人へ】 希望する併用貸与への変更が不採用だった際に、現在貸与を受けている奨学金とは異なる種類の貸与奨学金への変更を希望する場合は、(13)又は(14)を選択してください。

あなたが在学している学校が確認大学等(給付奨学金対象校)である場合は、給付奨学金の内容を含んだ画面が表示されます。

誓約日はスカラネット入力日としてください。ここで入力した誓約日を基準とし、成年判定を行います。

学生本人の本名を、全角漢字及び全角カナで入力してください。名前が長い場合は、入るところまで入力してください。【奨学金案内】40ページ「(3)文字入力」参照。

外字は使用しないでください。(例) 吉→吉、廣→廣、祐→祐

漢字氏名には「[ラ]」ともに入力できますが、カナ氏名に「[ラ]」は入力できません。カナ氏名には代わりに「[オ]」と入力してください。(例) 漢字氏名 機構 かをる カナ氏名 キコウ カオル

姓・名欄ともに、「スペース」は入力しないでください(ミドルネームは名とつけて入力してください)。(例) 奨学 トーマス 太郎 →奨学 トーマス太

△カナ氏名は、振込口座の名義人氏名と同一であることが必要です。通帳の口座名義人氏名を必ず確認しながら入力してください。

外国籍の人は【奨学金案内】10ページの表のとおり在留資格に制限があります。必ず在留資格を在留カード等で確認してください。

日本人の配偶者等、永住者の配偶者等及び定住者の人は、在留期間(満了日)を入力してください。在留資格が法定特別永住者又は永住者の場合は、在留期間(満了日)の入力は不要です。

在学している学校が確認大学等(給付奨学金対象校)である場合は、②-奨学金申込情報の「2.貸与奨学金を希望しますか。」で「希望します」を選択すると表示されます。

あとで変更することはできません。【奨学金案内】28ページの解説内容をよく確認し、希望する1つを選択してください。

【(8)、(9)を選択する人へ】 既に第一種・第二種のどちらか一方を貸与中(又は貸与予定)の予約採用者又は短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学により第二種奨学金を継続する人で、今回の申込みでもう一方の奨学金を申し込み、奨学金の種類変更(第二種→第一種へ、又は第一種→第二種へ)を希望する場合は、以下のように入力してください。

(8)(9)(13)(14)を選択した人は奨学生番号を必ず入力してください。

希望奨学金は「希望奨学金申請フォーム」に入力したものを選択してください(ご自身が入力した希望奨学金は自動返信メール参照)。上記とスカラネット入力データと異なる場合は、スカラネット入力の際に希望した奨学金を最終的な希望として推薦いたします。スカラネット入力の際に希望した奨学金から希望奨学金を変更する場合は必ずメールでお知らせください。(レジュメP.5参照のこと)

原則選択不可不採用の場合、奨学金は受給できません

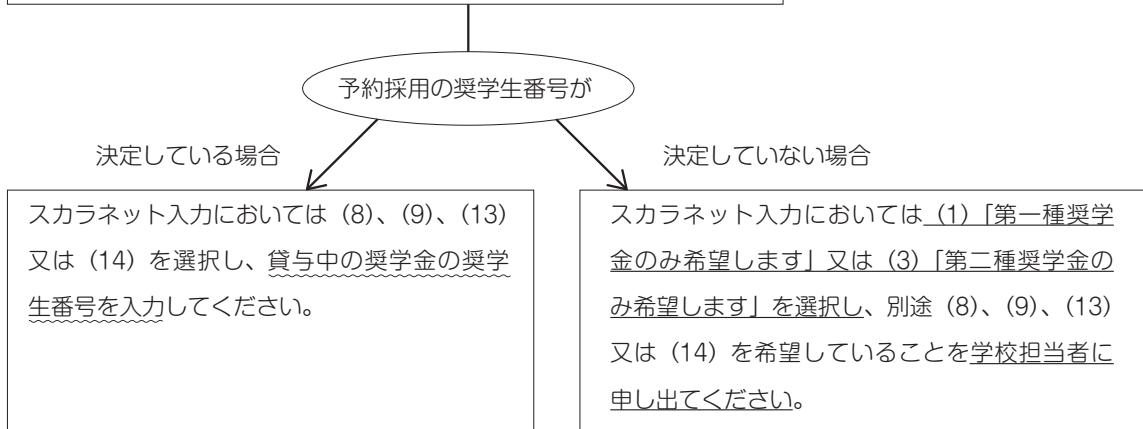
②－奨学金申込情報（3 ページ）の注意事項

◆併用貸与を希望する申込区分が、以下の（5）、（6）、（7）の場合、併用貸与が不採用になった場合を想定して第2希望・第3希望の貸与奨学金の月額を選択してください。なお、採用後、貸与月額を減額することができます。

- （5）第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金
- （6）第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金 第3希望：第二種奨学金
- （7）第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第二種奨学金

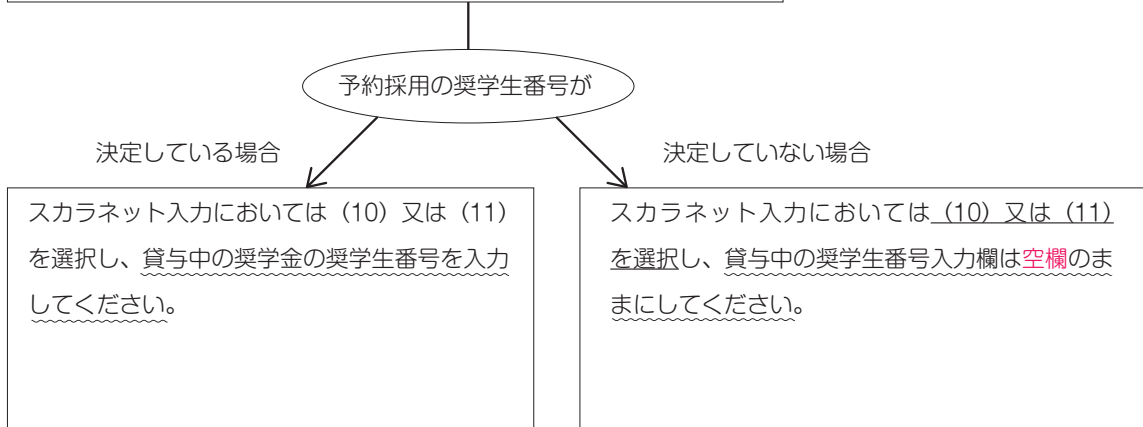
◆予約採用候補者が在学採用で以下の申込区分を希望する場合

- （8）第二種奨学金から、第一種奨学金への変更を希望する
- （9）第一種奨学金から、第二種奨学金への変更を希望する
- （13）第1希望：第一種と第二種（併用） 第2希望：第二種への変更
- （14）第1希望：第一種と第二種（併用） 第2希望：第一種への変更



◆予約採用候補者が在学採用で以下の申込区分を希望する場合

- （10）第一種奨学金に加えて、第二種奨学金の貸与を希望する
- （11）第二種奨学金に加えて、第一種奨学金の貸与を希望する



※申込区分（8）～（14）を希望し、不採用となった場合でも貸与中の奨学金が打ち切られることはありません。



②－奨学金申込情報で入力した奨学生番号は、⑥－あなたの履歴情報（8 ページ）では入力しないでください。

③-あなたの在学情報

1. 学校

(1) あなたの学校名を確認してください。

B23 経営学部1年生の場合

学籍番号=アルファベット+数字6桁
uの入力は不要です。

(2) 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字を入力することができません。外の文字が使われているに従ってください。

(2) あなたの学籍番号を記入してください。 (2) (半角英数字記号)

(3) あなたの在学している学部(科)名を選択してください。 (3) 経営学部

(注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。

(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。 (4) いいえ 専攻科 別科

必ず「いいえ」を選択してください。

(5) 学年を記入してください。 (5) (半角数字)

(6) 昼夜課程を選択してください。 **必ず「昼」を選択してください。**

昼(昼夜開講含む) 夜 通年スクーリング 学期間スクーリング

(7) 現在通っている学校への入学について、次の①~③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。

○①現在通っている学校の1年次に入学した。(同一校で転学部・科している場合を含む)
→入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

○②現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した。(以下3つの年月を全て記入してください。)
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

○③現在通っている学校の2年次以上の学年(課程)に、他の学校から編入学又は転学した(編入学又は転学の前に在学していた学校(大学、短大、高専、専門学校)が2つ以上ある)。(以下5つの年月を全て記入してください。)

【1回目の編入学】
→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

→2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

→2回目の学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

【2回目の編入学】
→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月: 西暦(半角数字4桁) 年 月

(8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。 (8) 西暦(半角数字4桁) 2000 年 3 月卒業 予定

(9) あなたの正規の修業年限を記入してください。 (9) (半角数字) 4 年 0 か月

<入学・卒業予定年月早見表>

全員「4年0か月」と記入してください。

2023年4月現在 1年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2023/4	2025/3
3年		2026/3
4年		2027/3
5年		2028/3
6年		2029/3

2023年4月現在 2年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2022/4	2024/3
3年		2025/3
4年		2026/3
5年		2027/3
6年		2028/3

2023年4月現在 3年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年	2021/4	2024/3
4年		2025/3
5年		2026/3
6年		2027/3

2023年4月現在 4年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
4年	2020/4	2024/3
5年		2025/3
6年		2026/3

※長期履修学生について

長期履修学生(「奨学金案内」15ページ参照)については、原則として奨学金を受けることのできる期間は通常課程の標準修業年限に相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常課程の卒業予定年月を、修業年限は通常課程の標準修業年限を記入のうえ、学校担当者へ申し出てください。

(2023年4月入学者の例)
通常課程の標準修業年限は2年・卒業予定年月は2025年3月
3年かけて履修し2026年3月が卒業予定年月となる長期履修学生
⇒卒業予定年月は2025年3月・修業年限は2年0か月と入力してください。

なお、第二種奨学金の場合は、採用後に所定の手続きを行うことによって学則に定める「長期履修課程の修業年限の終期まで」貸与を延長することができます。詳しくは、学校に相談してください。

(4) 専修学校は、「あなたは、上級学科に在学していますか。」という設問が表示されます。学校からの指示がない限り(4)は「いいえ」を選択してください。

(5) 下記に掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照し、卒業年月に合わせた実質学年を入力してください。編入学の場合は編入した学年を入力してください。(例)
○2年次休学のため3年次へ進級できなかった場合→2学年
○3年次編入→3学年

(6) 通学課程の学生は「昼(昼夜開講含む)」又は「夜」を選択してください。

(7) ①~③から該当する1つを選択してください。

編入学又は転学した人は、前に在学していた学校への入学年月等も入力が必要です。なお、高等専門学校からの編入学又は転学の場合、前の学校の入学年月は高等専門学校の4年次進級年月を入力してください。(例)

2021年4月にA短期大学に入学。2023年3月にA短期大学卒業後、2023年4月にB大学の3年次に編入学

・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月

・2021年4月(A短期大学の入学年月)

・現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月

・2023年3月(A短期大学の卒業年月)

・現在通っている学校へ編入学又は転学した年月

・2023年4月(B大学へ編入学した年月)

短期大学の専攻科に在学している人は、以下の年月を入力する設問になります。専攻科に入学する前に在学していた学校へ入学した年月

緊急採用・応急採用に申し込む場合は、入学年月のみを入力する設問となりますので、現在在籍している課程の1年次に入学した実際の年月(在学している学校に編入学又は転学した人は、編入学又は転学する前の学校の1年次に入学(高等専門学校からの編入学又は転学の場合は、高等専門学校の4年次進級)した実際の年月)を入力してください。

(8) 通常は正規の卒業予定年月を入力します。例えば新生で2年課程の人は2025年3月になりますが、過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の卒業予定ではなく、今現在の卒業予定を入力してください(左に掲載の<入学・卒業予定年月早見表>を参照してください)。なお、年度途中修了など特別な事情により、卒業月が3月以外になる学部・学科に在籍する場合は学校に確認してください。

(9) 「修業年限」とは、あなたの学部・学科が何年課程のものかという意味です。 ※現時点からあと何年通うかという意味ではありません。入力間違いをしないよう注意してください。

(例)
○4年課程の3年次に在学(編入)する人の修業年限は4年。

○2年課程に在学し、1年次の途中で申し込む人の修業年限は2年(1.5年ではありません)。

編入学・転学部
に該当しない方は、**全員**に記入してください。

(10) あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。

※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。

(郵便番号) (半角数字) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、**2023年4月時点**の住所を選択してください。自動表示された住所は必ずしもあなたの住所とは一致しない場合があります。

「180-0001」で検索してください。
「180-8633」はエラーとなります。

「住所2」には番地以降の入力となりますので、「住所1」の情報と重複しないよう注意してください。

(11) あなたの通学形態を選択してください。

※社会的養護を必要とする人が、児童養護施設等や里親等のもとから通学し本人居住にかかる費用(家賃)を負担していない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択してください。
※社会的養護を必要とする人を含む独立生計者が居住にかかる費用(家賃)を支払いつながりながら通学している場合は、学校までの通学距離・時間等に関わらず「自宅外通学」を選択し、「下記設問にて⑤及び「支障が生じる」を選択するうえ、支障が生じる理由の入力欄に「独立生計者である」旨を入力してください。
※給付奨学金を希望する人が「自宅外通学」を選択した場合でも、自宅通学の月額からの振込み開始となります(給付奨学金に併せて第一種奨学金を希望する場合、第一種奨学金も自宅月額からの振込みとなります)。自宅外月額の振込みは、生計維持者(原則父母)と別居し、かつ学生等本人の居住に係る家賃が発生していることの証明書類(アパートの賃貸借契約書のコピー等)を学校へ提出し、不備なく審査終了してからとなります。

自宅通学(またはこれに準ずる) 自宅外通学

上記で「自宅外通学」を選択した人にお聞きます。

「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するもの全てを選択してください。いずれにも該当しない場合は、「自宅通学(またはこれに準ずる)」を選択し直してください。

- ①実家(生計維持者いずれもの住所)から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上
- ②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上
- ③実家から大学等までの通学費が月1万円以上
- ④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下
- ⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合

上記で「⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますか。

支障が生じる 支障が生じない

上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。

「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。

(郵便番号) (半角数字) -

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

④-奨学金給付額情報

貸与奨学金のみ希望する方は、入力の必要はありません。

⑤-奨学金貸与額情報

1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。

(1) ▼

【2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額】

区分 月額の 種類	大学							
	国・公立		私立		自宅		自宅外	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
最高月額 以外の月額				5万円				5万円
	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円	2万円

入学年度によって選択できる金額が異なりますので、ご注意ください。
2017年度以前入学者は次ページ参照

最高月額を利用するためには、併用貸与の家計基準を満たしていることが必要です。
それぞれの月額を利用できる収入・所得金額の目安は「奨学金案内」の11ページを参照してください。

春の定期採用で採用されると、第一種奨学金の貸与始期は2023年4月(秋は10月)となります(入学年度によりません)。

自宅外通学の場合でも、自宅月額を選択することができます(入学年度によりません)。

⇒ 最高月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。

貸与月額〇〇円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。

条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。

▼

最高月額が認められなかった場合に希望する月額を上表の最高月額以外の月額から選択してください。

貸与奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

入学年度(入力した入学年月)により選択できる月額が異なります

貸与開始〜返還

入学年度（入力した入学年月）により選択できる月額が異なります

【2017年度以前入学者(2018年3月以前の入学年月を入力した人)の貸与月額】

大学							
国・公立		私立		自宅		自宅外	
自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万円
3万円				3万円			

入学年度によって選択できる金額が異なりますので、ご注意ください。2018年度以降入学者は前ページ参照

2017年度以前入学者は、最高月額の選択の制限はありません。

第一種奨学金を希望する人は、返還方式を選択できます。「奨学金案内」18ページを確認のうえ、どちらかを選択してください。

過去に同じ学種で第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」を選択してください。

第一種奨学金の再貸与と制度とは？過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同じ学種（大学、短期大学、専修学校等）で再度新たに第一種奨学金の貸与を受けることができる制度です。詳しくは「奨学金案内」の15ページを参照してください。

⑤一奨学金貸与額情報 直上の(3)で「はい」と答えた人に表示されます。

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。
(注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

(2) 所得連動返還方式 定額返還方式

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。 (3) はい いいえ
「はい」と答えた人はこれまでに今回申込みと同一学種で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。

奨学生番号（半角数字）

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込みを行ってください。

(注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

同意します

(4) あなたは「地方創生枠推薦者」ですか。 全員「いいえ」を選択してください。 (4) はい いいえ

「はい」と答えた人は、推薦者決定に際して、基金設置団体から奨学金申込時に入力するよう指示された番号を入力してください。（半角数字）

「地方創生枠推薦者」とは、地方公共団体と地元産業界が協力し、将来の地域産業の担い手となる学生等を応援する取組みとして、基金を設置した地方公共団体（基金設置団体）から推薦された人です。各都道府県において100名を上限として推薦されています。基金設置団体から「地方創生枠」としての推薦を受けていない人は、「いいえ」を選択して次に進んでください。

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (1)

2万円	3万円	4万円	5万円	6万円	7万円
8万円	9万円	10万円	11万円	12万円	

プルダウンリストから希望する月額を選択してください。

(2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。 (2) はい いいえ

(2) (3) は医・歯・薬・獣医学の増額に関する。 全員「いいえ」を選択してください。

(3) 「はい」と答えた人かつ12万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望することができます。 あなたは（医・歯は4万円増、薬・獣医は2万円増）を希望しますか。

(3) 4万円 2万円 希望しない

併用貸与を希望した人に表示されます。併用貸与については、「奨学金案内」6ページを参照してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金で最高月額を選択した人に表示されます。

併用貸与を希望した人は、貸与月額が適切であることを確認後、「はい」を選択してください。

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。

この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくことになります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。

はい いいえ

2023年10月～2024年3月のいずれかの月をご記入ください。

10月を選択した場合、11月以降の初回振込時に10月分からまとめて振り込まれます。10月以外を選択された場合は、確認の連絡がくる場合があります。

(4) あなたは何月分から貸与を希望しますか。

(注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。

二次採用では入学時特別増額貸与奨学金の募集はありません (4) 西暦（半角数字4桁） 2023 年 10 月

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

(1) はい いいえ

(2) 「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。

(2) 10万円 20万円 30万円 40万円 50万円

入学時特別増額貸与奨学金は、入学した学校において1回しか受けることができません。そのため、すでに入学時に入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けたことがある場合は、「いいえ」を選んでください。編入学の人が編入学時に入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は、「いいえ」を選択して学校へ申し出てください。なお、入学時特別増額貸与奨学金は、「国の教育ローン」を利用できない人を対象としており、第二種奨学金と同様に有利子です。「奨学金案内」7ページも参照してください。

返還時の利率の算定方法を選択する項目です。詳しくは「奨学金案内」16ページを参照してください。

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

(1) 利率固定方式 利率見直し方式

貸与奨学金案内P16・17を参照のうえ、どちらかをご選択ください。

STEP4

⑥-あなたの履歴情報

ご自分の最終学歴を記入してください。

1. あなたの最終学歴を記入してください。

1. 西暦 (半角数字 4 桁) 2000 年 3 月 高等学校 卒業または退学

直近に卒業または退学した学校の年月及び学校を選択してください。

2. あなたは国内の高等学校 (本科) を卒業しましたか。

※ここでいう「高等学校」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校 (第 1 学年から第 3 学年まで) 又は専修学校の高等課程 (修業年限が 3 年以上のもの) を含みます。 (インターナショナルスクールや在外教育施設等は含みません。)

※現在、高等専門学校の第 1 学年から第 3 学年まで在学中の場合は入力不要です。

○はい ○いいえ

「はい」と答えた人にお聞きます。

あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。西暦 (半角数字 4 桁) 年 月

高等学校卒業後に専修学校高等課程などに進学・卒業した場合、「あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月」は専修学校高等課程ではなく高等学校の卒業年月を入力してください。

「いいえ」と答えた人にお聞きます。

あなたが現在通っている学校への入学前の履歴は次のうちどちらになりますか。

- 高等学校卒業程度認定試験合格者
○その他 (インターナショナルスクール、在外教育施設等)

「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人にお聞きます。

あなたは高等学校卒業程度認定試験にいつ合格しましたか。西暦 (半角数字 4 桁) 年 月

高等専門学校を卒業した場合、第 3 学年修了年月を入力してください (高等課程 2 年間を含まない年月を入力してください)。 (例) 高等専門学校 (高等課程) を 2023 年 3 月に卒業 => 高等学校を卒業した年月は 2021 年 3 月

あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度 (16 歳になる年度) から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで 5 年を経過していますが、5 年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していましたか。

○はい ○いいえ

「5 年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」とは、下記のような場合が該当します。 (例)

「その他」と答えた人にお聞きます。

あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名 (正式名称) とその学校を卒業又は修了した年月を記入してください。

西暦 (半角数字 4 桁) 年 月

・16 歳になる年度: 2014 年度
・16 歳になる年度から 5 年経過 => 2019 年 4 月 1 日以降
・2019 年度、2020 年度に高等学校卒業程度認定試験受験 (不合格)
・2021 年度に高等学校卒業程度認定試験受験 (合格)

3. 【給付】あなたはこれまでに、日本学生支援機構の給付奨学金 (原則、返還不要) を受けていますか。 (現在支給が終了しているものを含む)

○はい ○いいえ

【貸与】あなたはこれまでに、「②-奨学金申込情報」で入力した他に日本学生支援機構の貸与奨学金 (第一種・第二種) (原則、要返還) を受けていますか。 (現在貸与が終了しているものを含む)

○はい ○いいえ

②-奨学金申込情報で入力した奨学生番号以外に、日本学生支援機構の給付奨学金又は貸与奨学金を受けている、あるいは受けたことがある場合は、設問にて「はい」を選択のうえ、その奨学生番号を全て入力してください。 ②-奨学金申込情報で入力した奨学生番号以外に奨学金を受けたことがない場合は、設問で「いいえ」を選択してください。 なお、採用取消となったものは入力しないでください。 高校在学中に、都道府県等 (日本学生支援機構及び日本育英会以外) から奨学金の貸与を受けていた人は、「いいえ」を選んでください。 高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、平成 17 年度入学者より、日本学生支援機構から各都道府県に移管されました。

上のいずれかの設問で「はい」を選択した人は、その奨学生番号を記入してください。

※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合は、貸与額が調整されます。
※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入してください。
※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。

奨学生番号 1 82 04 削除 追加

Table with 5 rows and 6 columns: 半角数字, 例, 奨学生番号, 数字, 数字, 削除, 追加

②-奨学金申込情報で入力した奨学生番号は入力しないでください。奨学生番号が複数ある場合は「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。記入を取り消す場合は「削除」ボタンを押してください。

※第二種奨学金の貸与について確認してください。

あなたは、これまでに同一の学校区分で 2 回以上、第二種奨学金の貸与を受けていますか。日本学生支援機構の規程により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借りられる期間が制限される場合があります。 確認しました

同一の学校区分 (大学・短期大学・専修学校等) で 2 回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。

・3 ページ -奨学金申込情報で奨学生番号を記入した方 それ以外で奨学金を受給している場合は記入

・3 ページ -奨学金申込情報で奨学生番号を記入していない方 日本学生支援機構の奨学金を受けているまたは受けていた場合は奨学生番号を記入 (例) 現在第二種奨学金を受給しており、新規で第一種奨学金を希望している場合は、第二種の奨学生番号を記入

貸与奨学金案内P22～26を参照し、どちらかをご選択ください。

STEP5

⑦-保証制度

1. あなたが希望する保証制度を選択してください。
- (1) 機関保証
 - ※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。
 - 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。
 - (2) 人的保証
 - ※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。
 - 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

希望する保証制度を選択してください。

チェックを入れないと次に進むことができません。

- 併願又は併用で申し込み（STEP3 画面にて、次の選択肢を選択した場合）、
- (2) 第1希望：第一種奨学金 第2希望：第二種奨学金
 - (4) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）
 - (5) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金
 - (6) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第一種奨学金 第3希望：第二種奨学金
 - (7) 第1希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用） 第2希望：第二種奨学金
- かつ第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合

③]ページ「②-奨学金申込情報」参照

1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

所得連動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。

- (1) 機関保証
- ※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。
- 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

所得連動方式を希望する場合、第一種奨学金の保証制度は「機関保証」となります（人的保証は表示されません）。詳細は18ページ「10」を参照してください。

2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

- (1) 機関保証
- ※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。
- 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。
- (2) 人的保証
- ※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。
- 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

チェックを入れないと次に進むことができません。

STEP6

⑧-貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報

1. あなた自身について入力してください。

- (1) あなたのお名前は△△ ○○さんですね。
- (2) あなたの性別を選択してください。 **任意**
- (3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。
- (4) あなたの現住所を記入してください。

必ず全員ご記入ください。性別・固定電話番号は任意

マイナンバーカードを作成していなくても通知カード等でマイナンバー情報が提出できる場合は現住所を入力してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。

(4) (郵便番号) (半角数字) [] - [] [] 住所検索

住所 1 (自動入力) [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
住所 2 (番地以降) (全角文字) [] [] [] [] [] [] [] [] [] []

- (5) あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字) [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
携帯電話の電話番号を記入してください。 (携帯) (半角数字) [] [] [] [] [] [] [] [] [] []

①-あなたの氏名・誓約情報で入力した姓名が表示されます。

①-あなたの氏名・誓約情報で入力した生年月日により判定されます。

・あなたのマイナンバーを申込時に提出できない場合や、緊急採用・応急採用に申し込む場合は、**住民票住所**の入力が必要です。
・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。
※下記の「住所の入力例」参照。
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

住所の入力例

(郵便番号) [162] - [9999] 住所検索 ←押下

注意！
表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

- 住所1(自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本村町 1丁目
- 東京都 新宿区 市谷本村町 2丁目
- 東京都 新宿区 市谷本村町 3丁目

住所2(番地以降) [99-9] [機構ハイツ] [505]

注意！
※番地以降を全て全角で入力してください（英数字やハイフン、スペースを含む）。入力漏れがあると次の画面に進めません。
※番地以降のない住所は、住所2欄に全角で「.（ピリオド）」を入力してください。
※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力しないでください。
上記の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、住所2欄に誤って「1丁目99-9…」と入力した場合、届出内容は「1丁目1丁目99-9…」となります。

※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡の取れる国内の住所、電話番号の入力をしてください。

⑦-保証制度で「(1) 機関保証」を選択した人 貸与奨学金案内P22~23を参照してご記入ください。

2. 本人以外の連絡先について

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名

姓	名
(1) 漢字 (全角漢字)	
カナ (全角カナ)	

(2) その生年月日 (2) []年 []月 []日生

(3) あなたとの続柄 (3) []

(4) その住所 (4) (郵便番号) (半角数字) []-[] 住所検索

住所1 (自動入力) []

住所2 (番地以降) (全角文字) []

(5) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字) []-[]-[]

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) []-[]-[]

⑦-保証制度にて「機関保証」を選択した場合に表示されます。

機関保証を選択した人は、あなた（本人）以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。

※注意！「本人以外の連絡先」を入力する前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されると返還誓約書に印字されます。万一、返還誓約書に自署してもらえないと不備となり奨学生の資格を失うこととなります。

・海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。

「住所2」には番地以降の入力となりますので、「住所1」の情報と重複しないよう注意してください。

郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※[9]ページの「住所の入力例」参照。

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらも入力してください。

⑦-保証制度で「(2) 人的保証」を選択した人 貸与奨学金案内P24~26を参照し、要件を満たす方をご記入ください。

3. 連帯保証人と保証人について

あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

・(あなた(申込者)が成年の場合)原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等に入ってください。

・未成年者等保証能力がない人は認められません。

・債務整理(破産等)中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓	名
(a) 漢字 (全角漢字)	成蹊 次郎
カナ (全角カナ)	セイケイ ジロウ

(b) その生年月日 (b) 昭和 40 年 []月 []日生

(c) あなたとの関係 (c) []

未成年後見人の場合は、その続柄 []

(d) その住所

・連帯保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号) (半角数字) []-[] 住所検索

住所1 (自動入力) []

住所2 (番地以降) (全角文字) []

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字) []-[]-[]

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) []-[]-[]

(f) その勤務先 (f) (全角文字) []

勤務先電話番号 (半角数字) []-[]-[]

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

⑦-保証制度にて「人的保証」を選択した場合に表示されます。

連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「奨学金案内」24~26ページを確認してください。

連帯保証人の印鑑登録証明書に記載された住所(住民票住所)を記入してください。

・海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。

郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。

郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。

※[9]ページの「住所の入力例」参照。

「住所2」には番地以降の入力となりますので、「住所1」の情報と重複しないよう注意してください。

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と入力してください。

無職の場合は「その勤務先」には入力せず、こちらにチェックを入力してください。

人的保証を選択した人は、11ページの「(2)保証人について入力してください。」を記入してください。

⑦-保証制度で「(2) 人的保証」を選択した人 (続き)

(2) 保証人について入力してください。 **貸与奨学金案内P.25参照**

- 原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。
- 未成年者等保証能力がない人は認められません。
- 債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

姓	名
(a) 漢字 (全角漢字) 成 蹊	花 子
カナ (全角カナ) セイ ケイ	ハ ナ コ

(b) その生年月日 (b) 昭和 38 年 〇 月 〇 日生

(c) あなたとの続柄 (c) おば

(d) その住所

・保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号) (半角数字) 〇〇-〇〇〇〇 住所検索

住所1 (自動入力) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

住所2 (番地以降) (全角文字) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

その携帯電話の電話番号 (携帯) (半角数字) 〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇

(f) その勤務先 (f) (全角文字) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

勤務先電話番号 (半角数字) 〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇〇〇

※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

無職

(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。 (g) はい いいえ

保証人の要件を満たさない方を選任している可能性がある場合は、変更をお願いすることがあります。保証人の選任条件については、貸与奨学金案内P.25をよくお読みください。

あなたからみた続柄です。
(例) おじ、おば
※以下の場合、「その他(知人等)」と記入(選択)してください。
・離婚により親権を失った父母
・養子縁組により親権を失った本人の実父母
・配偶者の父母
(「父(母)」や「その他(4親等以内)」を選択しないでください。)

保証人の印鑑登録証明書に記載された住所(住民票住所)を記入してください。

・海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。
・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事前に確認してください。
郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が

「住所2」には番地以降の入力となりますので、「住所1」の情報と重複しないよう注意してください。

※[9]ページの「住所の入力例」参照。
・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。

無職の場合は「その勤務先」には入力せず、こちらにチェックを入力してください。

必ず「はい」を選択してください。連帯保証人・保証人は別生計であることが必須のため

連帯保証人・保証人について

⑦-保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ(合計2人)入力する必要があります。

連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。保証人には、「分別の利益」が適用されます。また、「検索の抗弁権」及び「催告の抗弁権」があります(連帯保証人にはありません)。

詳しくは、「奨学金案内」24ページを参照してください。

また、「奨学金案内」24～26ページにより、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、[10]ページの3の(1)、及び本ページの3の(2)を記入してください。

もし、1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。あらためて条件に合致する別の人物を選任しなおしてください。条件に合致する人物を選任できない場合は、⑦-保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。

採用時に提出しなければならない書類(返還誓約書)には、スカラネットで入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印(実印)し、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得ておいてください。

STEP7 ⑨-あなたの家族情報

J-あなたの家族情報は全員必ずご記入ください。

1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。 はい いいえ

「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。

児童養護施設入所者等 児童自立支援施設入所者等
 児童心理治療施設入所者等 自立援助ホーム入所者等
 里親に養育されている(いた)人 ファミリーホームで養育されている(いた)人

2. あなたの家族の人数

(1) 家族全員(あなたを含む)の人数を記入してください。 (1) 〇 人

3. 生計維持者(原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人)について記入してください。

1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。

※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要です(離婚等により完全に別生計の人を除く)。

(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。 (1) 〇 人

18歳時点であてはまり、「はい」を選択する人は、施設に入所していた、又は里親による養育を受けていたことがわかる日付が記載された証明書類の提出が必要です。
(証明書類の例)
施設等在籍証明書(施設長発行)、児童(里親)委託証明書(児童相談所発行)、措置解除決定通知書(児童相談所発行)等
※機構の所定様式「施設等在籍・退所証明書」でも可。

<注意>
申込者と生計が同一(同じ収入で生活している)である全員の人数です(同居別居を問いません)。収入があり別生計の兄弟姉妹や祖父母は含めません。また、⑨-あなたの家族情報1.で「はい」及び施設等を選択した場合は自動的に1名と表示されます。

※生計維持者については、必ず「奨学金案内」12～13ページを確認してください。
生計維持者とは、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母(父母もいる場合2人とも)としています。無収入の場合でも、生計維持者として入力する必要があります。入力漏れがないか確認してください。

父母に加えて年金収入等がある祖父母や収入がある兄弟が同居していても生計維持者とはなりません。

家族人数の数え方について
本人+就学者・就学前の弟妹+その他
【例】学生本人・父母・弟(中学生)+別生計の祖父母・社会人の姉
家族人数は4名
その他には独立している兄弟姉妹や祖父母(年金収入あり等)は含みません。

生計維持者は最大2人です。
P12・13生計維持者の人数と合致すること。 11

生計維持者は必須入力項目です。

父母に加えて年金収入等がある祖父母や収入がある兄弟が同居していても生計維持者とはなりません。

(2) 生計維持者① (父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人)

(a) あなたとの続柄

(a) 父

(b) 生計維持者①の氏名

姓 名

(b) 漢字 (全角漢字) 成 次郎

カナ (全角カナ) セイケイ ジロウ

(c) 生計維持者①の住所

(c) (郵便番号) (半角数字) 住所検索

住所 1 (自動入力)

住所 2 (番地以降) (全角文字)

(d) 生計維持者①の生年月日

(d) 年 月 日生

(e) 生計維持者①のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。

(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。

(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。

提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

- 準備できている
- これから準備する
- その他

マイナンバーカードを作成してなくても通知カードやマイナンバー入りの住民票を取得できる場合は「準備できている」を選択してください。

(f) 所得 (申込時点の状況) について、該当するものをすべて選び、年額を入力してください。

※金額は万円単位で入力してください。(例: 1,000,000円⇒100万円)

1. 給与所得 (年額 万円)

2. 商店・農業工業、個人経営 (年額 万円)

3. 失業手当 (年額 万円)

4. 生活保護費

※生活保護費はマイナンバーより情報連携しますので、金額の入力は不要です。該当する場合は、のみを入力してください。

5. 傷病手当金 (年額 万円)

6. 年金 (年額 150 万円)

7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当 (年額 18 万円)

8. 祖父母等からの援助や養育費等 (年額 万円)

9. その他 (年額 万円)

10. 2021年1月1日以前から無職

※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力してください。

「1. 給与所得」または「2. 商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、あてはまるものを選択してください。*2021年は2022年に読み替えてください。

2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。

2021年1月1日以前から同じ勤務先(同じ業務形態で事業経営)

※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。

2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業

就職・転職・退職・開業・廃業後の年収(見込み)はいくらですか。

(給与明細、帳簿、年収見込証明書、離職票等の学校への提出が必要です。)

・給与所得者 給与支払金額合計 年額 万円

・給与所得以外(商店・農業工業、個人経営) 所得金額合計 年額 500 万円

※申込時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合はこちらに年額(見込み)を入力してください。

※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額0万円と入力してください。

※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合もこちらに年額(見込み)を入力してください(マイナンバー提出不可に係る所定の手続きが必要です)。

※2021年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額(見込み)を入力してください。

(g) 生計維持者①は2022年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。

*2022年は2023年に読み替えてください。 はい いいえ

(h) 生計維持者①は2022年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。

はい いいえ

貸与奨学金制度

申込手順等

スカラネット入力下書き用紙

貸与開始～返還

生計維持者①の入力は必須です。定期採用の申込者は、ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。

離婚後に父母が再婚(事実婚含む)している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。その際は、養子縁組の有無に関らず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。

住民票住所を記入してください

「奨学金案内」33ページの表にチェックを入れた箇所をふまえて、該当するものを全て選択してください(年額の入力は1万円未満切り捨て)。なお、緊急採用・応急採用の申込者は、家計急変後の年額(年収見込)を入力してください。

定期採用の申込者の場合

「1.」と「2.」の欄の年額欄は、自治体等からマイナンバーにより収入情報を取得するため、表示されません。

ただし、生計維持者の勤務先を2021年1月2日以降に変更している場合、マイナンバーにより正しい収入情報を取得することができません。よって、その確認を行う必要がありますので、下の設問(「10.」の下)の「2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業」を必ず選択してください。

*2021年は2022年に読み替えてください。

<注意> 上記青色網掛け部分をよく読み、該当する部分を記入してください。

記入方法; 貸与奨学金案内P36~37参照

「7.」に年額を入力する場合、「33ページ(3)の生計維持者②にも同じ収入を入力しないように注意してください(二重計上されてしまいます)」。 貸与奨学金案内P36~37参照

「10.」にチェックを入れることができるのは、2021年1月1日以前から無職かつ申込日時時点で「3.」~「9.」全てに該当しない場合のみです。他に収入が存在する場合は、該当の箇所にチェックを入れ、「10.」にはチェックを入れないでください。「1.」~「9.」のいずれかと「10.」の両方にチェックを入れると先に進めません。また、2021年1月2日以降に退職・廃業している場合は、「10.」にチェックを入らず上の「1.」又は「2.」を選択しなうえ下の「2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業」を選択し、年額を入力してください(複数の勤務先・事業形態のうち、1つでも退職・廃業している場合も同じです)。

※二次採用(秋)で奨学金を申し込む場合は、2021年を2022年に読み替えてください。

生計維持者の勤務先が、2021年1月1日以前から変更がない場合は上のボタンを選択、2021年1月2日以降に変更している場合は下のボタンを選択してください。

※二次採用(秋)で奨学金を申し込む場合は、2021年を2022年に読み替えてください。

入力の際は、二重計上することがないように注意してください。

生計維持者が海外勤務のためマイナンバーを提出できない場合の取扱いは、機構HP「生計維持者が海外に居住している場合」を参照してください。

海外勤務等により2022年1月1日時点で日本国内に住民票(住民登録)がない場合が該当します。(二次採用(秋)で奨学金を申し込む場合は、2023年1月1日に住民票(住民登録)がない場合となります。)

海外勤務等によって、2023年1月時点で住民票が日本にない場合は、別途必要書類がございますので、学生部(0422-37-3539)までご連絡ください。

こちらを選択した場合は、別途申請フォームより証明書のアップロードが必要です。詳細は募集レジュメP6および貸与奨学金案内P32~38参照。項目の記入方法については、貸与奨学金案内P36~37参照。レジュメおよび貸与奨学金案内は大学HP(こちら)に掲載しています。

以下、(3)以降については前ページ(P12) (2)と同様に二人目の生計維持者について、ご記入ください。一人親の場合は、入力不要です。

父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要ですが（離婚等により完全に別生計の方を除く）

(3) 生計維持者②（父、母など）

(a) あなたとの続柄 (a) **母** ▼

(b) 生計維持者②の氏名

姓 名

(b) 漢字（全角漢字） **成 蹊** **和 子**

カナ（全角カナ） **セイケイ** **カズコ**

(c) 生計維持者②の住所 (c) (郵便番号) (半角数字) - **住所検索**

住所 1（自動入力） **住民票住所を記入**

住所 2（番地以降）(全角文字)

(d) 生計維持者②の生年月日 (d) **昭和 42** ▼ 年 月 日生

(e) 生計維持者②のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。

父母のうち[2]ページ(2)に入力した人ではない人を、必ず入力してください。定期採用の申込者は、ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。
※一人親の場合は(3)の入力は不要です。
※父母ともいない場合で代わって生計を維持している人がいるときは、主に生計を維持している人を[2]ページ(2)生計維持者①に入力してください。(3)の入力は不要です。

離婚後に父母が再婚（事実婚含む）している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。その際は、養子縁組の有無に関らず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。

海外の住所を入力することはできません。連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。

(注1) 「その他」を選択した人は、提出できない事情を選択してください。
(注2) 家計審査のため、マイナンバーの提出が必要です。提出できない場合は、別途毎年所得証明書等の証明書類の提出が必要となります。

- 準備できている
- これから準備する
- その他

マイナンバーカードを作成していなくても通知カードやマイナンバー入りの住民票を取得できる場合は「準備できている」を選択してください。

「奨学金案内」33ページの表にチェックを入れた箇所をふまえて、該当するものを全て選択してください。(年額の入力は1万円未満切り捨て)。なお、緊急採用・応急採用の申込者は、家計急変後の年額（年収見込）を入力してください。

定期採用の申込者の場合
「1.」と「2.」の欄の年額欄は、自治体等からマイナンバーにより収入情報を取得するため、表示されません。

ただし、生計維持者の勤務先を2021年1月2日以降に変更している場合、マイナンバーにより正しい収入情報を取得することができません。よって、その確認を行う必要がありますので、下の設問（「10.」の「○2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業」を必ず選択してください。
※二次採用（秋）で奨学金を申し込む場合は、2021年を2022年に読み替えてください。

<注意> 上記青色網掛け部分をよく読み、該当する部分を記入してください。

(f) 所得（申込時点の状況）について、該当するものをすべて選び、年額を入力してください。

※金額は万円単位で入力してください。（例：1,000,000円⇒100万円）

1. 給与所得 (年額 万円)

2. 商店・農業工業、個人経営 (年額 万円)

3. 失業手当 (年額 万円)

4. 生活保護費

※生活保護費はマイナンバーより情報連携しますので、金額の入力は不要です。該当する場合は、のみを入力してください。

5. 傷病手当金 (年額 万円)

6. 年金 (年額 万円)

7. 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当 (年額 万円)

8. 祖父母等からの援助や養育費等 (年額 万円)

9. その他 (年額 万円)

10. 2021年1月1日以前から無職

※無職であっても他に収入が存在する場合は、上記の該当する項目を選び、年額を入力してください。

「1. 給与所得」または「2. 商店・農業工業、個人経営」を選んだ人は、あてはまるものを選択してください。

2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業しましたか。

2021年1月1日以前から同じ勤務先（同じ業務形態で事業経営）

※生計維持者のマイナンバーから収入情報を連携しますので収入金額の入力は不要です。

2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業

就職・転職・退職・開業・廃業後の年収（見込み）はいくらですか。

(給与明細、帳簿、年収見込証明書、離職票等の学校への提出が必要です。)

給与所得者 給与支払金額合計 年額 50 万円

給与所得以外（商店・農業工業、個人経営） 所得金額合計 年額 万円

※申込時点において、複数の勤務先または複数の事業経営があり、1つでも2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業している場合はこちらに年額（見込み）を入力してください。

※全ての勤務先で退職・全ての事業経営で廃業しており、手当等も受給していない場合は、年額0万円と入力してください。

※海外勤務の場合でマイナンバーを提出できない場合もこちらに年額（見込み）を入力してください（マイナンバー提出不可に係る所定の手続きが必要です）。

※2021年以降海外勤務期間がある方は、マイナンバーを提出した場合でもこちらに年額（見込み）を入力してください。 *2021年は2022年に読み替えてください。

「7.」に年額を入力する場合、[2]ページ(2)の生計維持者①にも同じ収入を入力しないように注意してください（二重計上されてしまいます）。 貸与奨学金案内P36～37参照

「10.」にチェックを入れることができるのは、2021年1月1日以前から無職かつ申込日時時点で「3.」～「9.」全てに該当しない場合のみです。他に収入が存在する場合は、該当の箇所にチェックを入れ、「10.」にはチェックを入れないでください（「1.」～「9.」のいずれかと「10.」の両方にチェックを入れると先に進めません）。また、2021年1月2日以降に退職・廃業している場合は、「10.」にチェックを入れず上の「1.」又は「2.」を選択しただうで、下の「○2021年1月2日以降に就職・転職・退職・開業・廃業」を選択し、年額を入力してください（複数の勤務先・事業形態のうち、1つでも退職・廃業している場合も同じです）。
※二次採用（秋）で奨学金を申し込む場合は、2021年を2022年に読み替えてください。

生計維持者の勤務先が、2021年1月1日以前から変更がない場合は上のボタンを選択、2021年1月2日以降に変更している場合は下のボタンを選択してください。
※二次採用（秋）で奨学金を申し込む場合は、2021年を2022年に読み替えてください。

入力の際は、二重計上することがないように注意してください。 貸与奨学金案内P36～37参照

生計維持者が海外勤務のためマイナンバーを提出できない場合の取扱いは、機構HP「生計維持者が海外に居住している場合」を参照してください。

海外勤務等により2022年1月1日時点で日本国内に住民票（住民登録）がない場合が該当します（二次採用（秋）で奨学金を申し込む場合は、2023年1月1日に住民票（住民登録）がない場合となります）。

(g) 生計維持者②は2022年1月1日の時点で生活保護を受けていましたか。 *2022年は2023年に読み替えてください。 はい いいえ

(h) 生計維持者②は2022年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。 はい いいえ

こちらを選択した場合は、別途申請フォームより証明書のアップロードが必要です。詳細は募集レジュメおよび貸与奨学金案内P32～38参照。項目の記入方法については、貸与奨学金案内P36～37参照。レジュメおよび貸与奨学金案内は大学HP（こちら）に掲載しています。

海外勤務等によって、2023年1月時点で住民票が日本にない場合は、別途必要書類がございますので、学生部（0422-37-3539）までご連絡ください。

4. 家族のうち学校に在学している人に関して記入してください。

(1) 家族のうち就学者（あなたを含む）と就学前の弟妹の人数を合せて記入してください。

申込者本人を含む人数ですので、ご注意ください。(1) 人

(2) あなたの他に学校に在学している人および小学校入学前の弟妹がいる場合は、全員記入してください。

続柄	弟	姓	成蹊	名	史郎	学校設置者	在学している学校	通学別
	<input type="checkbox"/>					公立	高等学校	自宅
	<input type="checkbox"/>							
	<input type="checkbox"/>							
	<input type="checkbox"/>							
	<input type="checkbox"/>							

就学者とは、小・中・高等学校、高等専門学校、専修学校（高等課程・専門課程）、大学（短期大学・通信制・専攻科・職業技能別科を含む）、大学院に在学する人のことです。科目履修生、上記以外の別科生、聴講生、研究生、予備校生、一般課程の専修学校生、各種学校生は就学者に該当しません。わからないことがあれば、学校に確認してください。

あなたを除く就学者及び就学前の弟妹について入力してください。学校設置者とは、国立・公立・私立の別のことです。通学別とは、自宅通学・自宅外通学の別のことです。

5. その他の家族（「生計維持者・就学者・小学校入学前の弟妹」以外の家族）を記入してください。（あなたを除く）

続柄 姓 名 年齢

同一生計者のみ。同居していても、社会人で収入がある兄弟・姉妹や年金収入がある祖父母等で、別生計となる場合は、こちらに記載する必要はありません。生計維持者は無収入の場合でも必ずP.12もしくは13に記入してください。

「5.」に入力する家族は、
「2」ページ3. (2)で入力した生計維持者①
「3」ページ3. (3)で入力した生計維持者②
就学者
就学前の弟妹
を除いた同一生計の家族です。

3・4・5・6・7に該当する方は別途証明書のアップロードが必要です。募集レジュメP.6および貸与奨学金案内P39参照レジュメおよび貸与奨学金案内は大学HP（こちら）に掲載しています。

STEP8

⑩一特記情報

- あなたの支払っている年間の授業料を記入してください。 1. 万円
- あなたの家庭は母子または父子家庭ですか。 2. はい いいえ
- 家族の中に障害のある人（常就床を要する介護の必要な人等を含む）がいますか。 3. はい いいえ
「はい」と答えた人は、その人数を記入してください。 人
- 主に生計を維持する人が単身赴任等で別居していますか。 4. はい いいえ
「はい」と答えた人は、別居による住居・光熱・水道・家具・家事用品の年間の実費を記入してください。 万円
- あなたの家族に6ヶ月以上にわたり療養中の人または療養を必要とする人がいますか。 5. はい いいえ
「はい」と答えた人は、療養のために必要な1年間の支出金額を記入してください。 万円
- この1年間に火災・風水害又は盗難などの被害を受けたことがありますか。 6. はい いいえ
「はい」と答えた人は、支出の増加または収入の減少があるか選択してください。 はい いいえ
「はい」と答えた人で、長期（2年以上）にわたって支出の増加又は収入の減少がある場合、その1年分の金額を記入してください。 支出の増加 万円
収入の減少 万円
- 災害・震災に被災したことがある人で、被災した災害・震災が選択肢の中に含まれている場合は該当のものを選択してください。

学校の認定を受ける必要があり、9. (1)奨学金関係書類を学校へ提出し、指示に従って入力してください。各項目の金額で1万円未満は切り上げてください。

1. 入学金、教材費、実習費、施設費などは授業料に含めません。授業料減免を受けている場合は授業料から相当額を差し引き、算出してください。

2. 父母のいずれか1人と18歳未満の子（就学者は18歳以上でも可）の世帯（60歳以上の経済力のない祖父母（所得金額が50万円以下）がいても可）、祖父母と18歳未満の子の世帯等が対象です。

3. 該当者（本人を含む）がいる場合は、身体障害者手帳等のコピーを学校に提出してください。

4. 上限は71万円です（合計金額から1万円未満切り上げ）。単身赴任先の住居・光熱・水道・家具・家事用品の領収書のコピーを学校に提出してください。

5. 該当者がある場合は、医療費等の領収書のコピーを学校に提出してください（合計金額から1万円未満切り上げ）。

6. 被害を受けたことを証明する書類のほか、支出の増加額、または収入の減少額の算出の基となる書類を学校に提出してください（合計金額から1万円未満切り上げ）。

7. プルダウンリストから該当の災害を選択してください。

⑪一家庭事情情報

1. 奨学金を希望するに至った家庭事情や、特に説明を要することを記入してください。

（全角200文字以内、下の記入欄をご利用ください）

注1) 主に生計を維持する人が無職（失職）の場合には、その無職（失職）となった年月、理由、現在の生活費の出所等を具体的に記入してください。

注2) 第二種奨学金の最高月額を必要とする理由を具体的に記入してください。（学校担当者から確認等を行う場合があります）

(20×10)

全員記入必須項目です。なるべく詳細に記入してください。簡潔すぎる場合は推薦できない可能性もありますのでご注意ください。
全角200文字以内ですので、入力の際には半角入力がないか確認してください。半角が混ざっている場合は進むことができません。

家庭事情情報は、全員入力する必要があります。特に、緊急採用・応急採用の申込みをする人は、「いつ」「どういった事由で」家計急変したのか、事情をできるだけ詳しく入力してください。

併用貸与を希望し、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、最高月額を必要とする「理由」も入力してください。

注意！口座情報に誤りがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。

入力しようとしている口座が奨学金を受け取れる口座かどうか、次のチェックリストを使って確認してください。

- あなた本人の預・貯金口座です。
 - 銀行等の普通預金口座、または、ゆうちょ銀行の通常貯金口座です。
 - 誓約欄のカナ氏名と通帳の口座名義人（カナ）は完全に同一です。
 - 金融機関名・支店名・口座番号（ゆうちょ銀行以外の場合）、または記号・番号（ゆうちょ銀行の場合）は正しいです。（※）
 - この通帳は1年以内に記帳できました（休眠口座ではありません）。
 - 農協、信託銀行、外資系銀行、SBI新生銀行、あおぞら銀行、ネットバンク、コンビニ銀行等の口座ではありません。
- ※ 3か月以内に新設された支店は選択できない場合があります。

必ず学生本人名義口座を指定してください。父母等の口座は指定できません。銀行またはゆうちょのいずれかを選択

STEP9

⑫-奨学金振込口座情報

1. 公金受取口座の利用を希望しますか。 1. 希望します 希望しません

公金受取口座とは

2. 奨学金を振り込む金融機関を選択してください。 2. 銀行等 ゆうちょ銀行

設問1で「（公金受取口座の利用を）希望します」を選択した場合、奨学金の振込先は原則としてあなたが国（デジタル庁）に事前登録した公金受取口座となります。ただし、あなたの公金受取口座情報を機構が利用できない場合に備えて、奨学金の振込先となる口座情報を入力する必要があります。なお、公金受取口座と同じ口座情報を入力して構いません。

奨学金申込の時点で公金受取口座を登録済である人のみ、「希望します」を選択することができます。ただし、公金受取口座が奨学金の振込に利用できない口座（「奨学金案内」14ページ参照）の場合は、「希望しません」を選択してください。

注意事項を記載していますので、公金受取口座の利用を希望する場合はこのボタンを押して必ず確認してください。

【銀行等を選択した場合】

金融機関名および支店名を選択してください。

(1) 金融機関名の読みの先頭1文字を選択してください。 (1)

1 (2) 金融機関名を選択してください。 (2)

(3) 支店名の読みの先頭1文字を選択してください。 (3)

2 (4) 支店名を選択してください。 (4)

3. 預金通帳等で確認後、口座番号を入力してください。

3 3. 普通（総合）口座

確認のため、再度口座番号を入力してください。 確認用

4. 口座名義人を入力してください。（口座名義人は本人に限ります） 4

4. 口座名義人（全角カナ） 姓 名

番号が7桁に満たない場合は、そのままの桁数で入力してください。

口座名義人は、①-あなたの氏名・誓約情報で入力したあなた本人のカナ氏名と完全に同一である必要があります。 ※姓と名でそれぞれ15文字まで入力できます。 ※姓が15文字以上ある人は、15文字まで姓に inputsし、16文字以降は名に inputsしてください。 ※ミドルネームがある人は、名の欄に「ミドルネーム」と「名前」をスペースなしで inputsしてください。

【ゆうちょ銀行を選択した場合】

3. 貯金通帳等で確認後、口座の記号-番号を入力してください。

3. 記号-番号

確認のため、再度口座の記号-番号を入力してください。

確認用

4. 口座名義人を入力してください。（口座名義人は本人に限ります） 3

4. 口座名義人（全角カナ） 姓 名

「記号」と「番号」の間に数字がある場合は、その数字は inputsしないでください。 ※番号が8桁に満たない場合は、そのままの桁数で inputsしてください。

4 普通預金 銀行等

キョウキョウ

お振付の宛先情報（次のとおりです）	金額	変更後金額	店名	口座番号
			***	*****

株式会社 ×× 銀行 1

口座店 ×× 支店 2

TEL ×××(×××)××××

ご預金奨励のご紹介先 ××××××××

お振込入金 ×××(×××)××××

印紙税中含納付につき趣意 税務署承認済

ゆうちょ銀行

記号 1 番号 2

1***0 *****1

おなまえ

キョウキョウ 様 3

株式会社ゆうちょ銀行 (金融機関コード：9900)

通帳作成地 東京都千代田区豊洲1-2-2 株式会社ゆうちょ銀行

この番号では振込みできません

この口座を他金融機関からの振込みの受取口座として利用される際は次の内容をご指定ください。

【店名】一九八(読み イチキュウハチ)

【店番】198 【預金種目】普通預金 【口座番号】0123456

コピーの提出は不要です（希望奨学金申請フォームで提出済のため）

入力後、「次へ」ボタンを押すと、STEP10 ⑫-奨学金振込口座情報確認に進みます。口座情報に誤りがなければ確認してから、「次へ」ボタンを押してください。以降は「奨学金案内」43ページを見ながら、画面の指示に従って進めてください。

日本学生支援機構 本人控除額

自宅通学 : 控除額 37 万円 + 授業料年額

自宅外通学 : 控除額 84 万円 + 授業料年額

授業料年額一覧

所属		入学年度				
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
学部	経営・経営 文・法	83万円	83万円	83万円	83万円	80万円
	理工	106万円	106万円	106万円	106万円	104万円
大学院	文系（博士前期）	52万円	52万円	52万円		
	文系（博士後期）	44万円	44万円	44万円	44万円	
	理工（博士前期）	75万円	75万円	75万円		
	理工（博士後期）	61万円	61万円	61万円	61万円	